



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 株式会社 ZOZO

5

— 世界中をカッコよく、世界中に笑顔を。 —

## スタートトゥデイの創業

10

会社設立から20年足らずで、今や時価総額1兆円を超えるスタートトゥデイ。衣料品通販サイト「ZOZOTOWN（ゾゾタウン）」で急成長した当社は、1998年5月東京都江戸川区に有限会社として設立された。当時は、代表取締役社長である前澤友作氏（以下、前澤）が、高校在学中からバンドを組んでいたことや高校卒業後、渡米したことをきっかけに始めた輸入CD・レコードの通販販売を事業として行っていた。米国のみで流通しているレコードやCDを輸入で買い付け、カタログを郵送で送り、電話とFAXで注文を受けるといったビジネスモデルであった。

15

前澤は、1998年のスタートトゥデイ創立と同時期に自身所属のバンドのメジャーデビューも果たすという異色の経営者であるが、2000年にはバンド活動を休止し、経営に専念する決断をした。同年1月にはカタログ通販から切り替えて、インターネット上のCD・レコードの輸入販売サイト「STMonline（エスティエムオンライン）」の運営を開始し、4月には株式会社化も実現した。

20

「音楽とファッションはリンクしているもの。CDやレコードだけでなく、自分たちの好きな様々なファッションを紹介していきたい<sup>[1]</sup>」という想いから、自分が着ていたものや仲間のバンドの友人がつくっているストリート系ファッションブランド（DEVILLOCK, DOARAT, mongtage）に声をかけた。そして、2000年10月に、ゾゾタウンの先駆けとなる初のファッション事業である、インターネット上のセレクトショップ「EPROZE（イープローズ）」の運営を開始した。2002年には、初のレディースオンラインセレクトショップ「QUNIEE

25

<sup>[1]</sup> 「シリーズ 無店舗販売の可能性を探る スタートトゥデイ「ZOZOTOWN（ゾゾタウン）」 <http://zozo.jp>— eコマースのその先を行く—」、『繊維トレンド』、2007年9・10月号 No.66, 東レ経営研究所

本ケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール准教授 村上裕太郎および同研究科修士課程 星野志紗（M39期）が公表資料をもとにクラス討議の資料として作成した。ケースの記述内容は作成時点での情報にもとづいている。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 村上裕太郎、星野志紗（2018年9月作成）